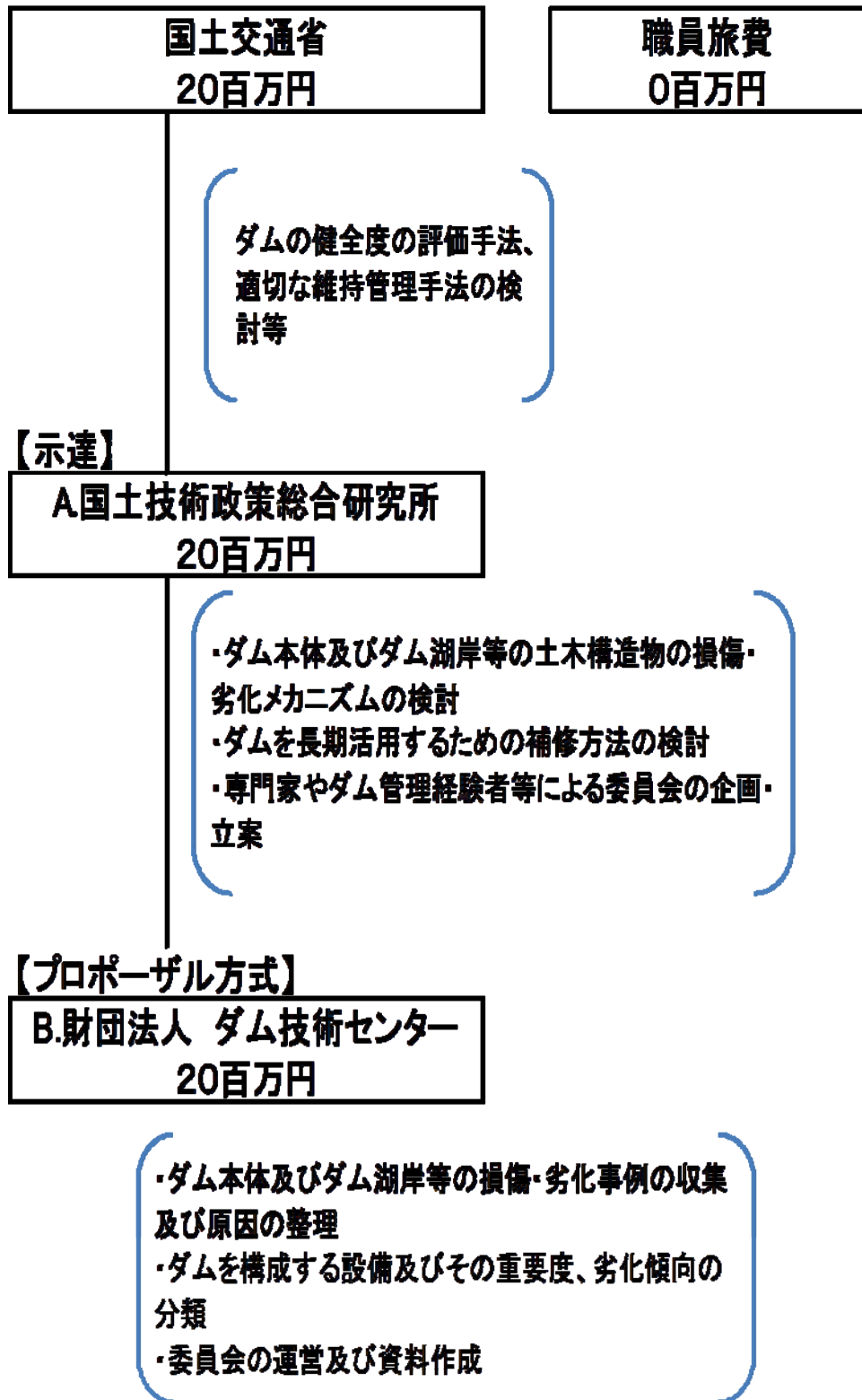


行政事業レビューシート (国土交通省)						
予算事業名	ダムアセットマネジメント (ダムの長寿命化施策) 検討経費		事業開始 年度	平成20年度		作成責任者
担当部局庁	河川局		担当課室	河川環境課 流水管理室		室長 岡積 敏雄
会計区分	一般会計		上位政策	水害・土砂災害の防止・減災を推進する		
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	河川法第9条		関係する計 画、通知等	-		
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度 以内)	本検討は、ダム堤体及びダム湖岸等の土木構造物について、ダム長寿命化の観点から健全度の評価手法、適切な維持管理手法を検討することにより、ダムの機能について長期的に安全を維持することを目的としたものである。					
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	ダム本体及びダム湖岸等で発生している損傷・劣化事例や他の土木構造物の事例を調査し、ダムの長期利用によって生じる問題を抽出する。また、各施設の重要度、復旧期間・費用等をもとに修繕や補修の時期などを類型化し、ダムの長寿命化を目指した対策の方針を確立する。					
実施状況	平成20年度は、既設ダムの本体及びダム湖岸等の土木構造物に関する損傷・補修事例を収集し、損傷・劣化のメカニズムを整理した。 平成21年度は、ダムの維持補修について、設備の部品毎の管理レベルやその部品の損傷が設備全体の機能に対して致命的影響を及ぼすか否かを分類し、設備の重要度や設置場所・設置環境等による劣化の傾向等について、専門家の意見等も聞きながら、とりまとめをおこなった。さらに損傷・劣化のメカニズムを踏まえた設備の健全度の評価手法について整理し、損傷・劣化の進行状況による保全対策の方針についてとりまとめた。					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	-	26	21		
	執行額	-	26	20		
	執行率	-	96.7%	95.7%		
	総事業費(執行ベース)	-	-	-		
自己点検	支出先・ 用途の把 握水準・ 状況	内容、進め方について、本省が十分把握した上で必要な指導を行い、予算が目的に沿って効果的に使われていることを確認している。具体的には、調査内容や進め方について国土技術政策総合研究所と密接に打ち合わせ等を行い、業務打合せにも本省からも出席する等により、適切な指導を行った。また、国土技術政策総合研究所に対し、執行状況に関する調査を行い、契約件名、支出先、金額等を把握している。				
	見直しの 余地	今後においても調査手法等の改善を通じ、効果的・効率的な事業遂行に努める。				
予算 チーム 監視の 効率化						
補 記	<p>【予算科目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・126 水害・土砂災害対策費 <ul style="list-style-type: none"> ・05-95 水害・土砂災害の防止・減災の推進に必要な経費 (21年度予算額) (21年度決算見込額) ・95016-2129-06 諸謝金 0百万円 - ・95016-2122-08 職員旅費 0百万円 0百万円 ・95016-2122-08 委員等旅費 0百万円 - ・95016-2123-09 水害・土砂災害対策調査費 20百万円 20百万円 					

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)



費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者について記載する。使途と費目の双方で実情が分かるように記載)

A.国土技術政策総合研究所			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
調査費	ダムアセットマネジメント(ダムの長寿命化施策)検討経費	20			
計		20	計		0
B.財団法人 ダム技術センター			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
調査費	ダム長寿命化に向けた合理的維持管理に関する検討業務	20			
計		20	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0